

第2期熊本県まち・ひと・しごと創 生総合戦略のK P I の実績値の取り まとめ

令和6年(2024年)10月

熊 本 県

目 次

■K P I の実績値(4つの柱)

- 1 令和2年7月豪雨からの創造的復興 -1-
- 2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応 -2-
- 3 熊本地震からの創造的復興 -4-
- 4 将来に向けた地方創生の取組み -5-

1 令和2年7月豪雨からの創造的復興

現状と課題

・令和2年(2020年)7月3日夜に梅雨前線が九州北部地方まで北上し、九州では大気の状態が非常に不安定となり、4日までの2日間で、7月の平均雨量約1カ月分を観測する大雨となりました。

・特に、球磨川流域では線状降水帯が形成され、時間雨量30mmを超える激しい雨が4日未明から朝にかけて、8時間にわたって連続して降り続けました。

・このため、球磨川流域を中心に多数の家屋浸水や土砂災害が発生し、県全体で死者65人、行方不明者2人、住家被害7,781棟に上る甚大な被害が生じました。道路、橋梁、鉄道等の交通インフラが深刻な被害を受け、水道・電気・通信等のライフラインも広範囲で寸断しました。

・県内の被害総額は、建築物(住宅関係)約1,668億円、公共土木施設約1,452億円、農林水産関係約1,019億円など、合計約5,330億円となり、昭和以降に県内で発生した災害のうち、熊本地震に次ぐ被害額となっています。

・今回の災害は、超高齢化、人口減少が加速する地域で発生した災害であり、復旧・復興に当たっては、人口流出の防止や地域経済・産業の再生とともに、球磨川流域の清流と共に生き、暮らしていきたいとの被災者の思いに寄り添った復旧・復興が求められます。

取組みの方向性

・令和2年(2020年)11月24日に策定した「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」に沿って、「生命・財産を守り安全・安心を確保しながら、球磨川流域の豊かな恵みを享受する」を基本理念とし、「愛する地域で誰もが安全・安心に住み続けられ、若者が“残り・集う”持続可能な地域の実現」を目指します。

・今回の豪雨災害を契機として、県内全域においても災害に強い郷土づくりに取り組みます。

(1) 実現に向けた施策

施策1

被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み

【具体的な施策】

①

すまい・コミュニティの創造

②

なりわい(生業)・産業の再生と創出

③

災害に強い社会インフラ整備と安心して学べる拠点づくり

④

地域の魅力の向上と誇りの回復

施策2

県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり

【具体的な施策】

①

国土強靱化に向けた取組み

②

幹線道路の整備

(2) 重要業績評価指標 (KPI) の動向

No.	評価指標	戦略策定時実績値(R1)	戦略策定時実績値(4年累計平均)	R2実績値(R3評価)	R3実績値(R4評価)	R4実績値(R5評価)	R5実績値(R6評価)	単位	指標の動向(策定時との比較)	指標の動向(前年度との比較)	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値(R5)	種類	達成状況
施策1 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み														
1	被災された方々お一人お一人の意向に沿った住まいの再建・確保	—	—	・「住まいの再建5つの支援策」について市町村等へ制度周知 ・被災者からの補助金交付申請の受付等					—	—	—	完了	—	
2	再建を目指す全ての事業者の事業再開	—	—	141	500	519	522	件	↗	↗	522	完了	累計	
3	再建を目指す全ての農林漁業者の生産基盤の復旧	—	—	3,666	4,725	5,209	5,480	件	↗	↗	5,480	完了	累計	
施策2 県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり														
4	幹線道路の整備進捗率	53.9%	—	55.3	58.6	61.6	67.5	%	↗	↗	67.5	66.6%	累計	☆
5	土砂災害特別警戒区域からの住宅移転数	62件/4年	15.5件/年	31	26	20	24	件	↗	↗	101	65件/4年	4年累計	☆
6	県が育成した防災士の資格取得者数	1,027人	—	1,027	1,188	1,592	1,759	人	↗	↗	1,759	1,500人	累計	☆

2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

現状と課題
・新型コロナウイルス感染症は、令和元年(2019年)12月に確認されて以降、世界中で感染拡大が続いており、県民生活と県経済にも深刻な影響を及ぼしています。 ・このため、県民の生命や安全・安心な生活を守るため、迅速かつ的確に感染拡大防止対策を講じるとともに、県民生活の回復を早期に図っていく必要があります。 ・一方で、社会の変容に伴い地方への関心が高まっており、熊本への人や企業の流れを創出する新たな取組みが期待されます。 ・また、大きな打撃を受けている県経済について、人手不足等の従来からの課題への着実な対応に加え、新しい地域産業・農林水産業・観光産業への変革を全国に先んじて進める必要があります。
取組みの方向性
・感染拡大防止と、大きな打撃を受けた県経済や県民生活の回復とのベストバランスを図るとともに、「新しい生活様式」、「ニューノーマル」といった社会の変容を好機と捉えて社会全体のデジタル化を推進するなど、熊本の更なる発展につなげます。

(1) 実現に向けた施策

施策1	感染症対策の体制強化
【具体的な施策】	
①	感染拡大防止対策及び相談・検査体制等の確保
②	持続的な医療福祉サービス提供等に向けた体制強化
施策2	持続可能な社会の実現
【具体的な施策】	
①	生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止
②	Society5.0の実現に向けたDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
③	熊本への人の流れの創出

(2) 重要業績評価指標 (KPI) の動向

No.	評価指標	戦略策定時実績値 (R1)	戦略策定時実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	R4実績値 (R5評価)	R5実績値 (R6評価)	単位	指標の動向 (策定時との比較)	指標の動向 (前年度との比較)	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値 (R5)	種類	達成状況
施策1 感染症対策の体制強化														
7	くまもとメディカルネットワークに参加している県民数	30,864人	—	51,497	69,276	90,867	119,269	人	↗	↗	119,269	70,000人	累計	☆
施策2 持続可能な社会の実現														
8	子供の居場所の数 (地域の学習教室及び子ども食堂)	教室開設数: 165 力所	—	176	188	193	199	力所	↗	↗	199	教室開設数: 200力所	累計	
		食堂稼働数: 73力所	—	45	83	130	158	力所			158	食堂稼働数: 100力所	累計	
9	刑法犯認知件数	6,498件/年	—	5,081	5,187	4,944	6,174	件/年	↗	↘	6,174	前年比減	単年	
10	学校情報化認定制度で「先進地域」の認定を受けた自治体数	3市町村 (県)認定なし	—	3 認定なし	19 認定なし	38 認定なし	44 認定	市町村	↗	↗	44 認定	44市町村 (県)認定	累計	☆
11	RPAやAI等の新たなICTツール等の導入により効率化した県の業務数	3件	—	8	10	11	14	件	↗	↗	14	11件	累計	☆
追加1	超高速ブロードバンド未整備地域率	3.4%	—	2.2	1.6	1.1	【集計中】	%	—	—	【集計中】	0.0%	累計	
追加2	オンライン申請利用件数	62,000件	—	110,978	231,700	211,129	241,958	件	↗	↗	241,958	前年度比増	単年	☆
追加3	県所管の行政手続のオンライン化数	50手続	—	125	301	467	717	手続	↗	↗	717	前年度比増	単年	☆
追加4	マイナンバーカードを活用した手続数	33手続	—	37	43	63	67	手続	↗	↗	67	前年度比増	単年	☆
追加5	マイナンバーカードを活用した各種証明書のコンビニ等交付サービスの人口カバー率	—	—	73.5	81.1	85.0	93.8	%	↗	↗	93.8	85%	累計	☆
追加6	県共同利用のシステム数	5システム	—	6	5	6	9	システム	↗	↗	9	前年度比増	単年	☆
12	県外からの移住者数	2,074人/年	—	1,620	2,025	2,315	2,749	人	↗	↗	8,709	10,000人/ 4年	4年 累計	

2新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

(1) 実現に向けた施策

施策3	持続可能な経済活動の実現
【具体的な施策】	
①	企業や雇用の維持及び労働環境の整備
②	新しいビジネスの創出
③	農林水産業の持続的発展
④	新たな観光スタイルの確立

(2) 重要業績評価指標 (KPI) の動向

No.	評価指標	戦略策定時実績値 (R1)	戦略策定時実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	R4実績値 (R5評価)	R5実績値 (R6評価)	単位	指標の動向 (策定時との比較)	指標の動向 (前年度との比較)	目標値の 達成状況を 評価する実績値	目標値 (R5)	種類	達成 状況
施策3 持続可能な経済活動の実現														
13	熊本県UIJターン就職支援センター登録者におけるUIJターン就職者数	260人/4年	65人/年	72	98	117	158	人	↗	↗	445	400人/4年	4年累計	☆
14	農業分野における外国人材(技能実習生、特定技能外国人材)の受入人数	3,425人/年	—	3,688	3,772	4,474	5,457	人/年	↗	↗	5,457	4,000人/年	単年	☆
15	製造品出荷額	2兆8,461億円/年(H30)	—	28,195	32,234	34,785	【集計中】	億円/年	—	—	【集計中】	3兆203億円/年	単年	
16	IT関連産業の売上高	369億円/年(H30)	—	525	708	【集計中】	【集計中】	億円/年	—	—	【集計中】	392億円/年	単年	
17	企業立地件数	34件/年	—	41	59	61	72	件/年	↗	↗	72	35件/年	単年	☆
18	県の施策を通じて創業・第二創業を行った企業数	16社/4年	4社/年	6	5	5	4	社	↗	↗	20	20社/4年	4年累計	☆
19	県内港国際コンテナ貨物取扱量	37,163TEU/年	—	36,665	36,427	34,476	33,857	TEU/年	↘	↘	33,857	44,000TEU/年	単年	
20	主要な農産物の10a当たりの収量	2,792kg/10a/年(H30)	—	2,834	2,875	2,782	【集計中】	kg/10a/年	—	—	【集計中】	2,847kg/10a/年	単年	
21	認定農業者や地域営農組織等へ集積する農地面積	79,296ha	—	82,809	84,507	85,760	87,196	ha	↗	↗	87,196	86,800ha	累計	☆
22	ドローンを活用した土地利用型農業防除面積の割合	5%	—	9	10	11	14	%	↗	↗	14	13%	累計	☆
23	スマート林業技術等を導入した事業体の割合	—	—	3	13	15	18	%	↗	↗	18	15%	累計	☆
24	スマート養殖業を活用・導入した免許漁場数	3漁場	—	8	9	14	18	漁場	↗	↗	18	7漁場	累計	☆
25	農林水産物等の輸出額	61億円/年	—	77.6	95.9	105.4	122.4	億円/年	↗	↗	122.4	80億円/年	単年	☆
26	中山間農業モデル地区における目標達成率	—	—	—	—	22	50	%	↗	↗	50	50%	累計	☆
27	延べ宿泊者数	763万人/年	—	473	474	630	840	万人/年	↗	↗	840	800万人/年	単年	☆
28	クルーズ船寄港数	19回/年	—	0	0	4	15	回/年	↘	↗	4	100回/年	単年	
29	新たな観光スタイルにつながる着地型・体験型旅行商品の予約件数	10,000件/年	—	7,747	5,143	8,182	6,356	件/年	↘	↘	6,356	13,000件/年	単年	

3 熊本地震からの創造的復興

現状と課題

・熊本地震からの復旧・復興は、県民一丸となった取組みにより、着実に進んでいます。

・最重要課題である「すまい」の再建については、仮設住宅入居者の約99%に当たる4万7千人の方々が住まいの再建を実現するとともに、いまだ仮設住宅で生活されている方々についても、自宅の再建が進められています。

・また、令和2年(2020年)8月のJR豊肥本線の全線運転再開や、10月の国道57号北側復旧ルート及び現道の開通に加え、令和3年(2021年)3月には国道325号阿蘇大橋ルートが開通しました。南阿蘇鉄道についても、令和4年度(2022年度)末の復旧工事完了を予定しており、阿蘇へのアクセスルートは着実に回復しています。

・さらに、阿蘇くまもと空港においては、令和2年(2020年)4月に熊本国際空港株式会社による空港運営が開始され、令和5年(2023年)春の新しいターミナルビルの完成に向けて準備が進むなど、大きな変革を見せています。

・一方で、住まいの再建や被災企業等の支援、益城町の復興まちづくりなど、引き続き取り組むべき課題があります。

取り組みの方向性

・熊本地震からの創造的復興の総仕上げに向け、残された課題を確実に解決し、熊本の更なる発展につなげます。

(2) 重要業績評価指標 (KPI) の動向

No.	評価指標	戦略策定時 実績値 (R1)	戦略策定時 実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	R4実績値 (R5評価)	R5実績値 (R6評価)	単位	指標の動向 (策定時との比較)	指標の動向 (前年度との比較)	目標値の 達成状況を 評価する実績値	目標値 (R5)	種類	達成 状況
施策2 創造的復興の推進														
30	益城町市街地部の人口回復率	19%	—	35	48	66	81	%	↗	↗	81	50%	累計	☆
31	熊本と阿蘇の交通量の回復状況	32,700台/日	—	37,800	38,600	国調査終了	39,600	台/日	↗	—	39,600	39,400台/日	単年	☆
32	空港周辺における新産業振興策(UXプロジェクト)の取組みに係る企業・団体等の参画数	—	—	12	36	213	80	企業・団体等	↗	↗	341	40企業・団体等/4年	4年累計	☆

(1) 実現に向けた施策

施策1 くらし・生活の再建

【具体的な施策】

① 「すまい」の再建

② 被災企業の事業再建

施策2 創造的復興の推進

【具体的な施策】

① 益城町の復興まちづくり

② くまもとの誇りの回復と宝の継承

③ 阿蘇地域の振興

④ 「大空港構想」の実現

4 将来に向けた地方創生の取り組み

現状と課題

・熊本が将来に向けて発展するためには、未来を担う子供たちが夢の実現に向かってチャレンジすることができるよう、グローバルに活躍できる力を身に付けられる環境や、質の高い教育環境を提供する必要があります。

・また、若者の地元定着を図るためには、県内企業の魅力向上に加え、高校生等に地元企業の良さや熊本で生活することの豊かさを伝える必要があります。

・一方、少子高齢化により生産年齢人口が減少する中、多くの産業で人材不足が深刻化しており、社会機能や地域経済を支える産業人材の確保・育成が急務となっています。

・県民の安全・安心を守ることは行政の責務であり、年齢、性別等にかかわらず、子供からお年寄りまで、誰もが自分らしく、安心して暮らし続けられる社会の実現が求められています。

・豊かで活力に満ちた熊本を実現するため、県民一人ひとりが住み続けたいと感じる魅力ある地域づくりの推進や、県民生活と県経済を支える重要な社会インフラである道路や公共交通の利便性向上が求められるとともに、世界的な環境問題に地方レベルでも積極的に対応するなど、持続可能な社会づくりを進めていく必要があります。

取り組みの方向性

・豪雨災害、新型コロナウイルス感染症、熊本地震という喫緊の課題に対応する中でも、安全・安心で未来への夢と希望にあふれる持続可能な熊本の実現や、将来の発展につながる取り組みが必要です。

・このような情勢下においても着実に進めていく必要のある施策に、優先順位を見極めながら取り組み、地方創生の実現につなげます。

(2) 重要業績評価指標 (KPI) の動向

No.	評 価 指 標	戦略策定時 実績値 (R1)	戦略策定時 実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	R4実績値 (R5評価)	R5実績値 (R6評価)	単位	指標の動向 (策定時との比較)	指標の動向 (前年度との比較)	目標値の 達成状況を 評価する実績値	目標値 (R5)	種類	達成 状況
施策1 次世代を担う人材の育成														
33	全国学力・学習状況調査で全国平均を上 回った項目数	5項目中1項目	—	【中止】	4項目中 1項目	6項目中 1項目	5項目中 0項目	項目	↘	↘	5項目中 0項目	全て	単年	
34	生徒の英語力	中3:27.1%	—	26.3	32.2	34.4	36.4	%	⇒	↗	36.4	中3:40.0%	累計	
	中3:英検3級相当取得率 高3:英検準2級相当取得率	高3:32.9%	—	34.4	32.3	30.8	31.4	%			31.4	高3:45.0%	累計	
施策2 若者の地元定着と人材育成														
35	新規学卒就職者(県内高校)の県内就職率	61.3%	—	62.9	63.0	64.3	66.1	%	↗	↗	66.1	65.0%	累計	☆
36	ブライ企業に就職した新卒学生数	3,239人/4年	809.75人/ 年	1,807	1,564	1,784	1,836	人	↗	↗	6,991	3,600人/4年	4年 累計	☆
37	農林水産業の新規就業者数	527人/年 (H30)	—	559	536	503	【集計中】	人/年	—	—	【集計中】	690人/年	単年	
38	看護職員数	34,248人 (H30)	—	35,070	35,102	34,868	【集計中】	人	—	—	【集計中】	36,900人	累計	
39	介護職員数	30,859人 (H30)	—	32,396	31,969	32,297	【集計中】	人	—	—	【集計中】	33,878人	累計	
40	介護ロボット・ICT機器を導入している入所 施設の割合	21.9%	—	30.4	36.5	40.4	44.4	%	↗	↗	44.4	50.0%	累計	
41	新規学卒就職者(県内中学・高校)の県内建 設業就業者数	178人/年	—	181	204	198	206	人/年	↗	↗	206	180人/年	単年	☆

(1) 実現に向けた施策

施策1 次世代を担う人材の育成

【具体的な施策】

- ① きめ細かな教育による学力の向上
- ② グローバル人材の育成
- ③ 魅力ある学校づくり

施策2 若者の地元定着と人材育成

【具体的な施策】

- ① 若者の地元定着
- ② 産業人材の確保・育成

4 将来に向けた地方創生の取組み

(1) 実現に向けた施策

施策3	安全・安心な社会の実現
【具体的な施策】	
①	子供を安心して産み、育てられる環境整備
②	子供からお年寄りまで、誰もが安心して暮らせる地域づくり
③	一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らせる社会の創造

(2) 重要業績評価指標 (KPI) の動向

No.	評価指標	戦略策定時 実績値 (R1)	戦略策定時 実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	R4実績値 (R5評価)	R5実績値 (R6評価)	単位	指標の動向 (策定時との比較)	指標の動向 (前年度との比較)	目標値の 達成状況を 評価する実績値	目標値 (R5)	種類	達成 状況
施策3 安全・安心な社会の実現														
42	「結婚支援」、「一般不妊治療助成」、「早産 予防対策事業」の全てに取り組む市町村 数	31市町村	—	34	34	35	36	市町村	↗	↗	36	45市町村	累計	
43	保育所等利用待機児童数	178人	—	8	9	15	4	人	—	—	4	0人	累計	
44	登録里親数	214世帯	—	232	278	316	363	世帯	↗	↗	363	348世帯	累計	☆
45	くまもとスマートライフアプリ登録者の平均 歩数	5,300歩	—	5,600	5,980	6,550	6,670	歩	↗	↗	6,670	6,300歩	累計	☆
46	農福連携コーディネート事業での契約件数	11件	—	46	96	138	212	件	↗	↗	212	50件	累計	☆
47	交通事故死傷者数	5,161人/年	—	4,033	3,975	3,977	4,177	人/年	↗	↘	4,177	前年比減	単年	

4 将来に向けた地方創生の取組み

(1) 実現に向けた施策

施策4 魅力ある地域づくり	
【具体的な施策】	
①	交通体系の最適化
②	持続可能な地域づくり
③	スポーツ・文化による地域活性化

(2) 重要業績評価指標 (KPI) の動向

No.	評価指標	戦略策定時 実績値 (R1)	戦略策定時 実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	R4実績値 (R5評価)	R5実績値 (R6評価)	単位	指標の動向 (策定時との比較)	指標の動向 (前年度との比較)	目標値の 達成状況を 評価する実績値	目標値 (R5)	種類	達成 状況
施策4 魅力ある地域づくり														
48	県による新たな地域資源の掘り起こしや市町村等と協働して行う地域づくりの取組件数	96件/4年	24件/年	31	35	32	32	件	↗	↗	130	120件/4年	4年 累計	☆
49	プラスチックごみ分別回収(容器包装リサイクル法対象)に取り組む市町村数	39市町村	—	39	39	39	45	市町村	↗	↗	45	45市町村	累計	☆
50	県内企業・団体等の「再エネ100宣言 RE Action」参加数	—	—	1	2	6	10	団体	↗	↗	10	10団体	累計	☆
○ 施策横断的な取組み														
No.	評価指標	戦略策定時 実績値 (R1)	戦略策定時 実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	R4実績値 (R5評価)	R5実績値 (R6評価)	単位	指標の動向 (策定時との比較)	指標の動向 (前年度との比較)	目標値の 達成状況を 評価する実績値	目標値 (R5)	種類	達成 状況
51	SDGs登録制度における登録事業者数	—	—	—	1,010	1,909	2,233	件	↗	↗	2,233	300件	累計	☆

●重要業績評価指標 (KPI) の動向

57 の重要業績評価指標(KPI)について、戦略策定時との比較を見ると、全体では43 指標が上向き、4 指標が下向きとなりました。また、うち35 指標が目標値を達成しました。

取組みの方向性	指標数	上向き ↗	横ばい ⇒	下向き ↘	未集計他 —	目標値 達 成
全 体	57	43 (75.4%)	1 (1.8%)	4 (7.0%)	9 (15.8%)	35 (61.4%)
1 令和2年7月豪雨からの創造的復興	6	5 (83.3%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (16.7%)	3 (50%)
2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応	29	22 (75.9%)	0 (0%)	3 (10.3%)	4 (13.8%)	19 (65.5%)
3 熊本地震からの創造的復興	3	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)
4 将来に向けた地方創生の取組み	18	12 (66.7%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	4 (22.2%)	9 (50%)
施策横断的な取組み	1	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)